

2009～2010年度
国際ローター-テーマ



『ローターの未来は
あなたの手の中に』

KAWASAKI TAKATSU R.C.

第2590地区第3グループ 川崎高津ロータリークラブ

2009～2010

事務局：〒213-0041川崎市高津区溝口2-14-1むらたビル3F
 例会場：ホテルKSP TEL 044-819-2211
 例会日：毎週木曜日 12:30 / 毎月第4週 18:00
 会長：福住 亮雄
 幹事：細谷 和彦



R.I. 会長
John Kenny

クラブ年度テーマ 『まず行動、そして誇りを持とう！』

点鐘・開会宣言・歌唱

福住 亮雄会長 「それでこそローター」

報告

会長報告

- * 2012-13年度 ガバナ-ミニ候補者推薦依頼が届いております。
- * 2月27日(土)に開催されるIMのパンフレットが届いております。
- * 国際ローター-第2720地区 前岡志郎ハ-ストガ-ナ-より「日本RC認証順位一覧」が届いております。

幹事報告

- 近隣クラブ 例会変更のお知らせ
- * 川崎宮前RC：1月26日(火)を29日(金)18:00に変更
第2グループ 合同例会 荻LKSP
 - * 川崎北RC：1月27日(水)を29日(金)に変更
合同例会 荻LKSP
 - * 川崎中原RC：1月 28日(木)を29日(金)に変更
合同例会 荻LKSP
 - * 川崎マリ-ンRC：1月28日(木)18:30～
富津シティRCとの合同例会 シ-ハ-ズ
 - * 川崎麻生RC：1月29日(金)12:30～
移動例会 琴平神社

近隣クラブ より会報が恵送されております。
 お目通しください。(順不同)
 川崎とどろきRC 川崎中RC
 志村会員の奥様より「国際VOPチミス川崎百合の活動報告」のパンフレットを頂きました。お目通しください。
 非常に頑張っているらしく、志村会員の話では「男性陣は完全に負けています。」ということです。

諸事お知らせ

- * 次週1月28日(木)の例会プログラムは夜間例会 大蓮寺副住職 大橋定敏様による卓話です。
- * 次週の例会に第2590地区第3グループ 野島敏昭ガ-ナ-補佐が新年の御挨拶にお見えになります。

第27回 例会記録

1月は「ローター-理解推進月間」です。

通算：第 1178 号
 例会日：平成 22年 1月21日
 発行日：平成 21年 1月28日
 今週のプログラム：「会員卓話 森山圭介会員」
 次週のプログラム：「夜間例会 卓話 大蓮寺副住職」
 ニコニコネーションメッセージ

* お客様(順不同)

* RC会員(敬称略)

福住亮雄 森山先生今日の卓話楽しみにしています。頑張ってください。

三家 護 1月15日に溝の口第二町内会の皆さんと飯

能萬福寺大黒天へ初詣に行ってきました。

細谷和彦 IMのアンケートの回答を宜しくお願ひします。
菊池幸治 運転免許証紛失の為、再交付の手続きに二俣川試験場に行ってきます。

杉崎晴男 生まれて初めて60歳になりました。少しだけ多めにご協力させていただきます。

本藤光隆 来月第1週は防災教室です。

全員の参加、協力を宜しくお願ひします。

	件数	合計	累計	目標額	達成率
ローター-財団	12	12,000	293,000	336,000	87.20%
米山奨学会	12	12,000	278,000	560,000	49.64%
ニコニコBOX	11	15,000	545,000	1,000,000	54.50%
フレンドリー-BOX	11	13,000	368,500		

	会員数	出席義務者	欠席数	出席率	MU	前々回修正
本日	28	26	4	84.62%		
前々回	28	26	4	1月7日分	0	84.62%

クラブ会報委員会

石川演慶委員長 福嶋 徹副委員長
 茅根正之委員 相馬 元委員 編集担当：相馬 元



ニコニコボックスピンチヒッターご苦労様です

私がやっている職業は歯科医ということで、今回は自分の仕事の内容を紹介したいと思います。今まで虫歯の治療というのは虫歯を削り、型を取り、数日後、1週間後に、もう一度来院して頂き、そこに金属を詰めたり被せるといった治療方法が一般的ですが、パソコンにあるCREC3(セラミック)というコンピューターとセラミックのブロックを削る機械の2つを使うと、削ったその日に被せてしまいます。それを金属ではなく歯の色に近いセラミックを使って虫歯を治します。ですから極端な話ですが、写真に載せている症例で1日、約40分で終わりました。ではどのようにやるかを写真を見ながら説明したいと思います。

上から2番目の写真は今回は既に金属で治療してある歯をセラミックの詰めものに置き換えました。左側の写真の大きい金属が被っている手前側の小さい金属の方の歯を右側の写真のようにセラミックに詰め替えたというパターンの説明になります。術式1ということで通常通り、削る歯に対して麻酔をかけている所です。右側に行きまして、今度は古い金属の所を麻酔が効いたところで削り落しています。

術式2は古い金属を削り落した後の写真です。この中で私が女性の患者さんの口に向かって持っている白くて細長い箱の様なものがデジタルカメラです。これで写真を撮ると深さを読み取る装置が入っているらしく、三角測量の要領で撮影をしています。いわゆる一般的な測量のテクニックに基づいたカメラです。

術式3はコンピューターの画面ですが、この時点で撮影の後この様な画像が映ってきます。これは写真を取る前に削った歯に白い粉を吹き付けます。これは酸化珪素という粉で、光に写した時に反応が良くなるために降りかけます。酸化珪素は体には無害でチューインガムの紙を開くと白っぽい粉が付いていますが、あれが酸化珪素です。この写真を撮った撮影直後のコンピューター上の写真をパターン一つで3秒ぐらいで写真のような石膏模型に見立てたものがモニター内で出来上がります。そしてこの削った縁の所に青い線がありますが、この部分はマニュアルで境界線をコンピューターに指示します。もう一度ボタンを押すと左下の写真になります。これが約10秒ぐらいでコンピューターの画面上でセラミックの詰めものをシミュレーションしていきます。この時点で殆ど手を加える必要が無いのですが、たまに出っ張りや高低などを画面上で形を整えます。

次に右側の写真になりますが、セラミックのブロックを機械に装着します。これは両脇から削るバーが出ていて、この細かいバーがセラミックを中心にして削りだします。コンピューターのデータをプリンターの様なもの、つまり3次元プリンターと思って頂ければ解りやすいと思います。この削る時間が約15分位です。

ですからその間、患者さんには待合室で待って頂いています。たまにちょっと見たいからと言ってセラミックが削りあがる私の作業をじっと眺めている方もいます。これも実際画像でお見せできると面白いと思うので、いずれ何かの機会にお見せ出来たらと思います。そして出来上がったセラミックの詰めものを装着した一番下の写真に辿り着き、それで大体40分ぐらいになります。

患者さんのためにこの治療法のメリットは、まず見た目が良くなります。金属色が無く目立たないということと、その日のうちに終わるという所です。歯科医師の立場からのメリットは、即日完了という所です。なぜかと言えばたとえば金属を詰めるときは削った後仮詰めをしますが、次回治療するために仮詰めは緩く外しやすいものとなります。そうすると1週間なり次の治療までは緩いものが詰めてある為とその削った表面が汚染されやすいです。この削った表面というのは繊細な場所でちょっとした汚れ等が入ると将来的にもう一度虫歯になる原因を多く作ってしまいます。ですから歯科医的にはそのような状態で1週間後というのはどうなのかとなりますが、それが全くなく15分で詰められるというのは非常にメリットだと思います。



【インプラントの裏話から歯磨きの方法まで色々な話や質問が沢山ありました。]
【ロータリーブライズが有るとか無いとか・・・】



会員の皆さんそれぞれ何かしら歯の悩みがある様子で興味深々と聞いております。



それと、使う接着剤ですが、このセラミックに対して使う接着剤というのも通常のものとは違って、より歯の繊細な部分に密着し染み込むような材料を使うと同時にセラミックに対しても接着剤が表面を巻きこむように着くので接着力も強固になっています。そのことから将来的にそこから漏れるリスクは従来のものよりだいぶ低くなったと思います。

この機械を導入して1年半になりますが、今だに割れたなどと言ったトラブルはありません。将来的に5年10年経った時にどうなるかはメーカーのデータでは問題ないという事ですが、私は自分で経験して蓄積したデータに頼るため、じっくりやってみます。

これが今の所、珍しい治療方法ではないかと思えます。